

伊澤柏軒 (伊沢柏軒)

いざわ・はっけん

福山藩医師、徳川幕府医師

経歴

生:文化7年(1810年)

没:文久3年(1863年)、享年54歳

安政6年(1859年)

50歳

幕府の奥詰医師

生い立ちと学業、業績

名は信重、字は道軒・任甫、通称は磐安、号は柏軒・存道軒・好徳軒・天心居士など。堂号は明誠堂・尊活性堂などを称した。

伊澤蘭軒の次男。狩谷掖齋に経を、父に医を学ぶ。妻は、掖齋の娘俊子。

門人に内田養三・齋木文礼・岡寛齋などがいる。

阿部正弘の病気治療にあたるが、力及ばず死亡したため奥医から表医に移された。安政6年(1859年)、幕府の奥詰医師を拝命し200俵30人扶持を支給される。

著書に『方意考』がある。

誠之館所蔵品展示品

管理No.	氏名	名称	制作/発行	日付
t1070	伊澤柏軒書	書「山下有清泉」	—	文政12年(1829年)

出典1:『近世後期の福山藩の学問と文芸』、73頁、福山市立福山城博物館編刊、平成8年4月6日

2016年2月28日追加●